

東京都中央卸売市場における本県青果物の販売状況（令和7年9月確定値）

<野菜類>

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 t	前年比 %	平年比 %	単価 円/kg	前年比 %	平年比 %	入荷量 t	単価 円/kg
れんこん	926	97.3	100.8	406	110.1	98.1	985	408
トマト	187	60.5	36.3	532	110.6	141.5	4,952	649
ピーマン	808	96.4	94.3	561	78.1	106.0	2,557	457
かんしょ	1,168	84.9	102.0	275	107.9	107.1	3,040	291

※出典:①東京都中央卸売市場統計情報(月報) ②平年比は都中央実績の直近5年間の平均値 から算出(果実類、花きも同じ)

- ・ れんこんは、県内各産地からの入荷が。本格化。入荷量は前年をわずかに下回り、ほぼ平年並みとなった。単価は前年をやや上回り、平年をわずかに下回った。
- ・ トマトは、抑制栽培が最盛期だが、高温による着果不良や作付面積の減により前年、平年を大幅に下回る入荷となった。東北夏秋産地の出荷日が集約されてきており、全体量の減少から堅調な相場展開となり、本県の単価は前年を1割以上、平年を4割以上上回った。
- ・ ピーマンは、本県の抑制栽培の最盛期。一部で高温障害による生育遅延が見られたことから前年、平年をやや下回る入荷となった。本県の単価は高値で推移した前年を2割近く回り、平年をやや上回った。
- ・ かんしょは本格出荷が始まり、潤沢な入荷となった前年を1割以上下回るも平年をわずかに上回る入荷となった。単価は貯蔵にまわる荷物が増え出荷量が安定しない中、量販店の注文が増えてくることから堅調な動きとなり、前年、平年をやや上回る結果となった。

<果実類>

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 t	前年比 %	平年比 %	単価 円/kg	前年比 %	平年比 %	入荷量 t	単価 円/kg
豊水(なし)	686	122.2	110.6	433	112.0	116.0	5,002	418
アールスメロン	195	89.6	95.6	502	106.9	110.5	391	754

- ・ 豊水(なし)は、栃木・福島を主力に本県産が入荷。少雨の影響で平年よりも小玉傾向となったものの、各産地で前年よりも高温対策が進んだことから、前年・平年を上回る入荷となった。暑さの影響からなし類の販売環境は好調であり、本県の単価は前年、平年よりも高値で推移となった。
- ・ アールスメロンは、茨城主力に静岡産が入荷。本県の生育は概ね良好なものの、一部でうどんこ病やアザミウマ類・コナジラミ類の発生があり、前年、平年を下回る入荷量となった。単価は、彼岸・連休向けの需要の後押しがあり、前年、平年を上回る堅調な値動きとなった。

<花き>

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 千本	前年比 %	平年比 %	単価 円/本	前年比 %	平年比 %	入荷量 千本	単価 円/kg
小菊	1,754	118.8	70.9	37	81.7	86.5	6,831	41

- ・ 小菊は、前年と同様に高温による開花遅延が発生し、一部では品質の低下も見られた。昨年の品薄による不信感から輸入品への切り替えが発生し、彼岸需要はあるものの全体的に引き合いの弱い販売となった。相場は、品薄の影響により高値となった前年、平年よりも安値で推移した。